

# 『広島平和研究』 投稿規程

広島市立大学広島平和研究所の紀要『広島平和研究』の執筆に際しては、本投稿規程によるものとする。投稿された論文は匿名の査読者（レフリー）による査読に付される。

## 1. 使用言語

- (1) 日本語または英語で、オリジナルの、書き下ろしのものであること。
- (2) 邦文原稿の場合には、英文表記による表題と執筆者名を付すこと。

## 2. 原稿と文字数

- (1) 原稿は、原則としてマイクロソフト・ワードで作成すること。
- (2) 特集論文、独立論文は、邦文16,000～25,000文字、英文8,000～10,000ワードとする。
- (3) 研究ノートは、邦文14,000～20,000文字、英文3,000～5,000ワードとする。
- (4) 書評は、邦文4,000～5,000文字、英文600～1,000ワードとする。
- (5) 注、および図表等は制限字数内に含めること。

## 3. 原稿の書式

- (1) 邦文原稿の書式は A4横書き、36字×36行とすること。英文原稿の場合は、英語の投稿規程を参照すること。
- (2) 審査の都合上、論文には投稿者の氏名を掲載しないこと。論文とは別に、氏名、論文タイトル、所属と職名、Eメールアドレス、住所を記した文書を別ファイルとしてメールに添付して提出すること。

## 4. 文章、および章、節、項

- (1) 邦文原稿の文章は、新字体、新仮名づかいによるものとする。また、本文と注における句読点は点（、）と丸（。）とし、原則としてコンマ（,）は用いない。
- (2) 章、節、項の見出しの数字は、以下のように統一する。なお、序章（はじめに・序論など）と終章（おわりに・結論など）には数字を振らない。  
章 1. 2. 3. / 節 (1) (2) (3) / 項 (a) (b) (c)

## 5. 注と図表

- (1) 注は原則として論文末に一括すること。
- (2) 注番号は本文の該当箇所の右上付きに1、2、3のように通し番号で入れること。末尾の注の一覧にも1、2、3の番号を付すこと。
- (3) 注における参考文献の示し方は、原則として、著者、書名、発行所、発行年（もしくは著者、論文タイトル、掲載誌、巻・号、発行年月）、頁数とすること。
- (4) 図表、写真等には、通し番号を付し、本文中に挿入位置を明示し、別紙に印刷するなどして提出すること。

## 6. 提出先

投稿原稿は電子メールで office-peace@peace.hiroshima-cu.ac.jp に送付すること。